

新型コロナウイルス感染症対策

～妊婦・家族の方々へ～



◆ 感染が妊娠に与える影響 ◆

- 妊娠中に新型コロナウイルスに感染しても、基礎疾患を持たない場合、その経過は同年代の妊娠していない女性と変わらないとされています。しかし、**妊娠後期に感染すると、早産率が高まり、一部の方は重症化**することが報告されています。
- 高齢での妊娠、肥満、高血圧、糖尿病などが新型コロナウイルス感染症の重症化のリスク因子であるという報告もあり、このような背景を持つ妊婦の方は、特に人混みを避ける、こまめに手を洗うなどの感染予防を心がけてください。



◆ 日頃の感染予防策 ◆

- 一般的に、妊娠中に【肺炎】を起こした場合、妊娠していない時に比べて重症化する可能性がめると言われています。そのため、日頃から感染予防を心がけ、健康管理を行って下さい。
 - ・手洗いの徹底(石けんを使用しての手洗い)
 - ・3密(①換気の悪い密閉空間、②人が密集している場所、③近距離での会話などの密接)を避ける
 - ・外出時のマスク着用
 - ・十分な睡眠

◆ 新型コロナワクチン ◆

ワクチンは
妊娠中、授乳中
でも、いつでも
接種することができます



夫または
パートナー、
同居の家族も
ワクチン接種を
しましょう



不安があれば、
かかりつけ医に
相談しましょう



◆ 家庭内感染に注意！！ ◆

- 感染経路が解っている妊婦の感染は、**8割が家族から感染**しています！妊婦の身近な方々は、『日頃から感染リスクの高い行動をとらない』など、より一層慎重な行動を心がけてください。
- 万が一、家族などが感染リスクの高い行動をとってしまった場合、基本的な感染対策と併せて、次の対策をとりましょう。
 - ・家庭内でもできるだけ接触を避け、接触する際は**家庭内でもマスク**を着用する
 - ・**食卓や寝室を分ける**などの家庭内隔離をする
 - ・食器や箸、タオル類の**共用はしない**

※妊婦自身は、マスク着用の徹底や混雑している場所を避けるなど、**自らが感染しないよう**、より一層の努力をお願いします。
家族もウイルスを家庭内に**持ち込まない**よう、水際対策を徹底しましょう。

